

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 SWCC株式会社

コード番号 5805 URL <https://www.swcc.co.jp>

代表者 （役職名） 代表取締役 CEO 社長執行役員 （氏名） 小又 哲夫

問合せ先責任者 （役職名） コーポレート・コミュニケーション部長 （氏名） 西山 愛依子 TEL 044-223-0530

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	77,661	24.9	8,657	80.4	8,665	80.7	5,708	92.2
2026年3月期第1四半期	62,157	9.2	4,798	△1.4	4,794	3.6	2,970	1.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 7,840百万円（245.6％） 2026年3月期第1四半期 2,268百万円（△42.5％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	192.74	—
2026年3月期第1四半期	100.42	—

（注）2026年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	220,401	109,914	45.9
2026年3月期	206,878	106,012	47.6

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 101,116 百万円 2026年3月期 98,395 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	90.00	—	133.00	223.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	140.00	—	171.00	311.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 330,000	% 18.8	百万円 33,000	% 20.8	百万円 32,200	% 23.2	百万円 23,000	% 22.1	円 銭 776.43

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 （社名） 一、 除外 一社 （社名） 一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.8「2.（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	30,826,861株	2026年3月期	30,826,861株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,204,106株	2026年3月期	1,210,678株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	29,619,417株	2026年3月期1Q	29,576,032株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 研究開発活動	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(追加情報の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

SWCCグループを取り巻く事業環境は、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりを受けた資源価格の高騰が継続したものの、政府の各種政策の効果もあり、サプライチェーンの混乱は緩和傾向で推移しました。国内の電力インフラ分野では、老朽化設備の更新や送配電網の強靱化に向けた継続的な投資により、需要は堅調に推移しました。一方、建設関連分野の需要は前年並みで推移しました。また、世界的な生成AI需要の拡大に伴いデータセンター向け設備投資が活発化し、AI半導体関連需要も拡大しました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、成長領域と位置付ける電力インフラ事業、海外向け通信事業および半導体事業が堅調に推移したことに加え、銅価格上昇の影響もあり、売上高776億61百万円（前年同四半期対比24.9%増）、営業利益86億57百万円（前年同四半期対比80.4%増）、経常利益86億65百万円（前年同四半期対比80.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億8百万円（前年同四半期対比92.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(エネルギー・インフラ事業)

電力インフラ分野では、変電設備の老朽化更新需要や送配電網の強靱化に向けた投資が継続するなか、戦略製品SICONEX[®]の増産投資による生産能力の増強および施工人材の強化により、競争優位性を活かして旺盛な需要を取り込み、収益性を向上しました。建設関連分野では、前年並みの需要が続く中、銅および材料価格上昇を踏まえた販売価格の適正化に加え、DX推進による業務効率化などの収益改善施策を進めた結果、収益性が向上しました。これらの結果、当事業における売上高は335億84百万円（前年同四半期対比22.8%増）、営業利益は60億69百万円（前年同四半期対比77.2%増）となりました。

(通信・コンポーネンツ事業)

通信ケーブル事業では、増産投資により生産能力を拡大した戦略製品e-Ribbon[®]が、米国データセンター向けの旺盛な需要を取り込み、好調に推移しました。半導体関連事業では、生成AIの普及拡大に伴う半導体需要の増加により、半導体検査装置向けプローブピンを中心に需要が大きく伸長しました。これらの結果、当事業における売上高は418億86百万円（前年同四半期対比27.2%増）、営業利益は26億10百万円（前年同四半期対比86.0%増）となりました。

(その他)

売上高は21億90百万円（前年同四半期対比16.9%増）、営業利益は5億4百万円（前年同四半期対比396.6%増）となりました。

(注) 上記の各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,204億1百万円（前連結会計年度末総資産2,068億78百万円）で、主に受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産および投資有価証券が増加したため、前連結会計年度末より135億22百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,104億86百万円（前連結会計年度末負債合計1,008億65百万円）で、主に支払手形及び買掛金およびコマーシャル・ペーパーが増加したため、前連結会計年度末より96億20百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,099億14百万円（前連結会計年度末純資産1,060億12百万円）で、主に利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末より39億2百万円増加しております。その結果、DEレシオは当第1四半期連結会計期間末で45.6%となりました。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、5億73百万円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第1四半期連結会計期間の業績が期初想定を上回って推移したことに加え、第2四半期連結会計期間以降も成長事業を中心に良好な事業環境が継続し、収益が堅調に推移する見通しとなりました。エネルギー・インフラ事業においては、国内電力インフラ分野の旺盛な需要を背景に、戦略製品であるSICONEX[®]のさらなる増産投資効果も寄与し、好調に推移すると見込んでおります。通信・コンポーネツツ事業においては、米国のAIデータセンター向けe-Ribbon[®]の需要が堅調に推移していることに加え、半導体検査装置向けプローブピンについても、中国向け需要を含め、期初計画を大幅に上回る受注を見込んでおります。

これらの状況を踏まえ、2026年5月14日付「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した通期連結業績予想を修正しております。

また、中間配当につきましては、1株当たり30円増配し、140円とし、期末配当予想につきましても、1株当たり31円増配し、171円とすることといたしました。これにより今期配当合計額は当初計画の250円から311円となる予想です。

上記詳細につきましては、本日（2026年8月7日）発表の「2027年3月期 業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,764	12,641
受取手形、売掛金及び契約資産	50,858	55,811
電子記録債権	7,017	5,946
商品及び製品	14,230	15,949
仕掛品	12,067	13,477
原材料及び貯蔵品	7,997	8,150
その他	3,493	4,288
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	106,409	116,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,661	17,723
機械装置及び運搬具(純額)	12,836	13,192
土地	20,795	20,745
その他(純額)	3,329	4,067
有形固定資産合計	54,622	55,728
無形固定資産		
顧客関連資産	15,199	15,026
技術資産	5,013	4,947
のれん	7,161	7,056
その他	2,880	3,171
無形固定資産合計	30,254	30,201
投資その他の資産		
投資有価証券	5,298	7,746
繰延税金資産	431	606
退職給付に係る資産	8,381	8,494
その他	2,737	2,366
貸倒引当金	△1,256	△990
投資その他の資産合計	15,592	18,224
固定資産合計	100,469	104,154
資産合計	206,878	220,401
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,076	30,694
電子記録債務	4,101	4,337
短期借入金	23,000	25,239
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
未払金	6,317	5,524
未払法人税等	4,108	2,838
役員賞与引当金	67	17
その他	8,419	7,063
流動負債合計	71,091	80,716
固定負債		
長期借入金	16,484	15,285
繰延税金負債	6,864	8,034
再評価に係る繰延税金負債	3,604	3,604
退職給付に係る負債	1,768	1,667
役員退職慰労引当金	10	2
その他	1,041	1,174
固定負債合計	29,774	29,769
負債合計	100,865	110,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	6,748	6,748
利益剰余金	55,700	57,456
自己株式	△1,878	△1,859
株主資本合計	84,791	86,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	910	1,710
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	5,243	5,243
為替換算調整勘定	3,840	4,020
退職給付に係る調整累計額	3,607	3,575
その他の包括利益累計額合計	13,603	14,549
非支配株主持分	7,617	8,798
純資産合計	106,012	109,914
負債純資産合計	206,878	220,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	62,157	77,661
売上原価	51,663	63,134
売上総利益	10,494	14,526
販売費及び一般管理費	5,696	5,869
営業利益	4,798	8,657
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	57	163
為替差益	12	—
固定資産売却益	286	5
貸倒引当金戻入額	182	248
その他	195	114
営業外収益合計	747	541
営業外費用		
支払利息	160	139
為替差損	—	36
持分法による投資損失	145	190
資金調達費用	271	6
その他	173	159
営業外費用合計	750	532
経常利益	4,794	8,665
特別利益		
投資有価証券売却益	11	187
特別利益合計	11	187
特別損失		
事業構造改善費用	0	—
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	4,805	8,853
法人税等	1,690	2,759
四半期純利益	3,114	6,093
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	384
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,970	5,708

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,114	6,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	1,514
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△958	416
退職給付に係る調整額	△13	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△150
その他の包括利益合計	△845	1,746
四半期包括利益	2,268	7,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,244	6,655
非支配株主に係る四半期包括利益	24	1,185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

a. セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・コンポー ネンツ事業				
売上高						
一時点で移転 される財	25,717	32,938	1,547	60,203	—	60,203
一定の期間に わたり移転さ れる財	1,627	—	326	1,954	—	1,954
顧客との契約か ら生じる収益	27,344	32,938	1,874	62,157	—	62,157
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	27,344	32,938	1,874	62,157	—	62,157
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	128	7,516	2,635	10,280	△10,280	—
計	27,472	40,454	4,510	72,437	△10,280	62,157
セグメント利益	3,425	1,403	101	4,930	△132	4,798

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットワークソリューション、物流事業、リサイクル等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△132百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△254百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・コンポー ネンツ事業				
売上高						
一時点で移転 される財	32,184	41,886	1,787	75,858	—	75,858
一定の期間に わたり移転さ れる財	1,400	—	402	1,803	—	1,803
顧客との契約か ら生じる収益	33,584	41,886	2,190	77,661	—	77,661
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	33,584	41,886	2,190	77,661	—	77,661
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	92	9,916	2,888	12,898	△12,898	—
計	33,677	51,803	5,079	90,560	△12,898	77,661
セグメント利益	6,069	2,610	504	9,184	△527	8,657

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットワークソリューション、物流事業、リサイクル等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△527百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△425百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、セグメント内での事業親和性を考慮し、報告セグメントの構成会社の見直しを行っており、従来「エネルギー・インフラ事業」に区分していた㈱昭和サイエンスおよび「その他」に含まれていた販売会社である㈱SDSの一部を「通信・コンポーネンツ事業」へ変更しております。また「エネルギー・インフラ事業」に区分していた免震事業については、事業からの撤退を決定したことに伴い重要性が低下したため「その他」に含めて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で記載しております。

b. 関連情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位: 百万円)

日本	アジア	その他	合計
55,639	6,194	323	62,157

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位: 百万円)

日本	アジア	その他	合計
67,813	7,638	2,210	77,661

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含みます。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。なお、前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間の各数値は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,657百万円	1,694百万円
のれんの償却額	105	105

(追加情報の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。